



下田市議会議長
竹内 清二

謹賀新年



下田市長
福井 祐輔

平成30年の新年を迎えるにあたり、謹んで年始のご挨拶を申し上げます。市民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお祝い申し上げます。

また、日頃より市政に対して、ご理解とご協力を賜り、重ねて御礼申し上げます。昨年、長年の懸案事項であった市役所新庁舎事業につきまして、12月議会において位置条例の改正が可決され、ようやく当事業のスタートを踏み切ることが出来ました。しかしながら、具体的な事業費の予算や附随されるサービス機能、あるいは現庁舎跡地利用の検討等、これからも市民の皆さまのご意見を賜りながら議論を重ね、一つひとつ積み上げていく作業が山積しております。皆さまにおかれましては引き続きご注視いただき、ご意見を賜りますようお願い申し上げます。

教育環境の充実を目指しての中学校再編に関しましては、長きに亘り検討されてまいりましたが、いよいよ本年から市民の皆さまのご意見を拝聴する機関を設ける計画となっております。これらに関しま

新年を寿ぎ、謹んでご祝詞を申し上げます。市民の皆さまにおかれましては、お健やかに新たな年をお迎えになられたこととご拝察申し上げます。

私、市長に就任以来2回目の元旦を迎えました。顧みますれば、昨年は下田市にとって画期的な出来事がありました。即ち、平成29年4月1日から、過疎地域自立促進特別措置法の適用を受ける市となりました。人口減少と財政力指数がいずれも条件に合致し、国からの財政的支援を受けられるようになりました。また、伊豆縦貫自動車道においては、要望活動の甲斐あって、計画段階評価の最終部分となる社会資本整備審議会道路分科会の中部地方小委員会が12月13日に開催され、天城湯ヶ島インターチェンジ（仮称）から河津インターチェンジ（仮称）までの所謂天城越え3ルートのうち環境影響評価の対象となるルートが決定し、計画上の伊豆縦貫自動車道が一本の路線で表示されることとなりました。いよいよ伊豆縦貫自動車道の開通が現実のもの

なりました。市庁舎の移転の条例が、12月定例会中の12月7日に議会で可決していただきました。長年の懸案が解決され、市民の皆さまの安堵感もひとしおのことと推考させていただきます。大願が成就したのも、偏に11名の市議員のご協力と市民の大多数の皆さまのご支援と鞭撻の賜であり心から感謝を申し上げます。

市政全般に関しては、三段跳びに例えれば、ホップの着地をし、次のステップへの準備が整ったのではないかと自己評価をしています。

本年は、経済の活性化、人口減対策、防災の推進を主軸として、下田市の再興のため、また、各地区に存在する課題の着実な解決のために、全身全霊を傾注していく所存でございます。また、引き続き伊豆縦貫自動車道の整備促進のための要望活動、市庁舎の移転のために事業の推進にも心血を注ぐ覚悟をしております。

平成31年にJR各社のデスティネーションキャンペーンが静岡県を対象として行われます。その前年である本年4月から6月の間にプレデスティネーションキャンペーンが

しても、市民の皆さまからのご意見のもと、具体的な議論を深めてまいります。

また、当地域において長きに亘つての悲願である伊豆縦貫自動車道路は、昨年末の天城峠区間のルート案決定、また本年末から来春に向けて予定されている大平インターチェンジから天城湯ヶ島インターチェンジ（仮称）までの5・1km区間の供用開始など、着実かつ急速に早期整備に向けて進捗しております。市議会といたしましても引き続き、地域の声を県や国に対して届けるための陳情要望活動を今後さらに加速してまいります。

昨年4月に公表されました下田市の過疎地域指定は、市民の皆さまにおかれましては将来に対する不安を抱かれたものとご推察申し上げます。しかしながら、この過疎地域指定を受けたことにより、自立促進のために得られる国からの支援制度を活用することが可能となるため、これまで財政上の理由から成し得なかつた施策も議論の対象となり、下田市が新たな施策に踏み出せる環境が整いつつあります。私ども市議会といたしまし

ても、当地域の最大の課題である人口減少に歯止めをかけるべく、地域経済の中核である観光産業をはじめ、各種産業の振興と雇用の創出、中心市街地の活性化対策、子育てや福祉等市民の皆さまのニーズに即したサービスの充実、南海トラフ巨大地震や近年多発している豪雨等の災害に備えた安心安全なまちづくり、その他早急な解決が求められるあらゆる施策に対し、政策立案を備える機関としての役割と責任を果たしてまいります。

行政と議会を両輪とする例えがございます。この両輪が動力となり機能を発揮するためには、進むべく方向をお示しいただく市民の皆さまのご理解とご協力が不可欠でございます。市政の一翼を担う市議会に對しまして、引き続き市民の皆さまのご意見ご要望を賜りたくお願い申し上げます。次第でございます。

結びに、本年が市民の皆さまにとりまして、幸多き年となりますことを心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

行われます。下田の観光を外に向けてアピールできる千載一遇の機会と捉え、黒船祭、きんめ祭り、あじさい祭り、フラワー都市交流等を活用し、観光客の誘致、とりわけリピーターとなつていただくような行事を組み立てることが必要であると考えています。

また、本年はニューポート市との姉妹都市締結60周年の記念となる黒船祭でもあります。60年間培ってきた両都市の良好な関係がますます発展し未来永劫継続できる固い契りを結べるような記念行事を行う予定です。

本年もまた、市役所職員一丸となつて、市民の皆さまの奉仕者として、全力を尽くす所存ですので、倍旧のご支援・ご鞭撻を頂けるよう心から願っております。

結びに、市民の皆さまにとって、本年も幸多い年となりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。